

授業計画

第1回（4月9日）： イントロダクション： 授業の趣旨・概要の説明
担当： 李鍾元（早稲田大学教授）

第2回（4月16日）： 歴史から考えるアジア共同体—「東アジア世界」の形成
担当： 李成市（早稲田大学教授）

第3回（4月23日）： 「東北アジア」の過去・現在・未来
担当： 和田春樹（東京大学名誉教授）

第4回（4月30日）： 「東アジア共同体」の思想と歴史
担当： 白永瑞（韓国、延世大学教授）

第5回（5月7日）： 中央アジアからみたアジア共同体
担当： 李愛俐俄（東京大学教授）

第6回（5月14日）： アジア共同体と市民社会
担当： 鄭俊坤（ワンアジア財団研究員）

第7回（5月21日）： アジア共同体とジャーナリズムの役割
担当： 岡本厚（岩波書店代表取締役社長）

第8回（5月28日）： アメリカからみたアジア共同体と朝鮮半島
担当： C・アームストロング（米国、コロンビア大学教授）

第9回（6月4日）： アジア共同体と日本の役割
担当： 河野洋平（元衆議院議長）

第10回（6月11日）： 東アジアの協調と対立—日中韓関係を中心に
担当： 若宮啓文（前朝日新聞主筆）

第11回（6月18日）： 中国からみたアジア共同体
担当： 黄平（中国社会科学院アメリカ研究所長）

第12回（6月25日）： アジアの環境協力と市民社会
担当： 李時載（韓国、環境運動連合代表、カトリック大学教授）

第13回（7月2日）： 南アジアからみたアジア共同体
担当： クンダ・ディクシット（ネパール、Nepali Times 紙編集長）

第14回（7月9日）： 東南アジアからみたアジア共同体
担当： 小川忠（国際交流基金、アジア総局長・ジャカルタ事務所長）

第15回（7月16日）： なぜ「アジア共同体」か
担当： 佐藤洋治（ワンアジア財団理事長）